

第 11 回 デュアスロン・チャレンジ in 日産スタジアム

競技運営マニュアル【TO 用】

第 1.1 版

作成者	TD/HR 中島 尚樹
作成日	2023 年 12 月 6 日
更新日	2023 年 12 月 7 日

目次

1. はじめに.....	4
2. 体制	5
2-1. TO・競技運営体制	5
3. 共通事項	6
3-1. 服装(ドレスコード).....	6
3-2. 持ち物.....	6
3-3. 集合場所／時間.....	6
3-4. スタッフ(TO)、選手、応援者への対応	6
4. 競技関連（共通）	7
4-1. 競技カテゴリー／参加人数／レースナンバー	7
4-2. タイムスケジュール	7
4-3. 距離と周回数	7
4-4. 競技説明会	7
4-5. 開会式・閉会式	8
4-6. コース.....	8
5. 競技規則・ローカルルール（共通）	9
5-1. 全般.....	9
5-2. ルール違反に対する対応.....	9
5-3. 計測・周回確認	9
5-4. リタイア時の対応.....	9
6. 競技規則・ローカルルール（バイク）	10
6-1. 計測エリア図	10
6-2. 機材.....	10
6-3. ドラフティング	11
6-4. その他	11
7. 競技規則・ローカルルール（ラン）	12
7-1. 計測エリア図	12
7-2. その他	12
8. 各担当業務.....	13
8-1. 受付／フィニッシュ	13
8-1-1. 受付	13
8-1-2. フィニッシュ（バイク）	13
8-1-3. フィニッシュ（ラン）	13
8-2. 招集／スタート	13
8-2-1. 招集（バイク）	13
8-2-2. 招集（ラン）	14
8-2-3. スタート（バイク）	14
8-2-4. スタート（ラン）	14

8-3. 設営／定点	14
8-3-1. 設営（バイク）	14
8-3-2. 設営（ラン）	14
8-3-3. 定点（バイク）	14
8-3-4. 定点（ラン）	15

■略語一覧

TO	テクニカルオフィシャル（審判員）
TD	テクニカルデリゲート（技術代表）
HR	ヘッドレフリー（審判長）

1. はじめに

日頃より TO 活動へのご協力に感謝するとともに、「第 11 回デュアスロン・チャレンジ in 日産スタジアム」への TO ご参加いただきありがとうございます。

本大会におきましては、安全第一での競技運営となるよう、選手・応援者・関係者等、会場に来場される皆さんへの対応をお願いいたします。

「第 11 回デュアスロン・チャレンジ in 日産スタジアム」は 大会ではなく、記録会の位置付けとなり、トランジションがありません。少数精鋭での運営となりますが、皆様のご理解、ご協力により、無事に大会を成功させたいと願っております。

TD/HR : 中島 尚樹

2. 体制

2-1. TO・競技運営体制

	名前	所属	ポジション	前日	無線
1	高崎 聡	KnTU	実行委員長	○	○
2	杉浦 博	KnTU	レースディレクター（受付兼務）	○	
3	杉浦 真由美	KnTU	大会本部（受付兼務）	○	○
4	中島 尚樹	KnTU	技術代表/審判長	○	○
5	伊藤 功顕	KnTU	ユーティリティ・先導（1 週目のみ）		○
6	大谷 圭吾	KnTU	設営/定点 チーフ		○
7	加藤 伸之	KnTU	設営/定点		
8	花澤 和男	KnTU	設営/定点		
9	吉水 英雄	KnTU	設営/定点		
10	岩田 聖市	KnTU	設営/定点		
11	小原 博史	KnTU	受付/フィニッシュ チーフ		○
12	綱川 さえ美	KnTU	受付/フィニッシュ		
13	三井 はるみ	KnTU	受付/フィニッシュ		
14	八ッ橋 隆	KnTU	招集/スタート チーフ		○
15	渡邊 英夫	KnTU	招集/スタート		
16	原田 あい	KnTU	招集/スタート		

3. 共通事項

3-1. 服装(ドレスコード)

- ・ 上半身 : JTU 審判員ポロシャツ(白黒) 、重ね着が見えるものは黒または白の無地
※注意 忘れた場合、ベストなど貸与はなし。
- ・ 下半身 : 黒のスラックスまたは半ズボン
- ・ 帽子 : JTU キャップ
- ・ 靴 : 黒推奨・動きやすいもの。派手なものは避ける。
- ・ サングラス : 色の薄いものについて使用を許可・任意にて着用する。
- ・ 雨具(雨天時) : 透明レインコート・傘の使用は不可とする。

3-2. 持ち物

- ・ JTU ルールブック・必須 (2019 年 1 月改定版)
- ・ JTU 公認審判員資格証・必須
- ・ 筆記用具(ペン・メモ帳)・必須
- ・ ホイッスル・必須 ※緊急時に使用。使用する場合は人に向かって吹かない。ピ・ピ・ピと短く吹く。
- ・ イエロー/レッドカード・持っていれば持参
- ・ ビニール袋・大会側で準備。

3-3. 集合場所／時間

- ・ 大会前日 12 月 16 日 (土)
(1) 集合時刻 19:00
(2)参加者：高崎実行委員長、杉浦博 RD、杉浦真由美本部担当、中島 TD/HR
(3) 集合場所 大会本部前
- ・ 大会当日 12 月 17 日 (日)
(1) 集合時刻 6:30／全 TO
(2) 集合場所 大会本部前

※車でお越しの方:TO 用駐車場を使う方は事前に TD まで申請をしてください。当日の駐車場開門は 6:20 の予定です。

【当日・前日連絡先】

大会本部 (杉浦 真由美) : 070-3236-2277

技術代表 (中島 尚樹) : 080-5029-6979

3-4. スタッフ(TO)、選手、応援者への対応

- ・ けが人や病人発生時の緊急連絡先
本部、もしくは周囲の無線を所持している TO へ連絡する
- ・ バイク置き場
競技開催中、本部付近にバイク置き場を設置し希望者のバイクを預かる

4. 競技関連（共通）

4-1. 競技カテゴリー／参加人数／レースナンバー

N o	カテゴリー	人数	レースナンバ ー	備考
1	キッズ・低学年（1 年～3 年）	18	1～	
2	キッズ・高学年（4 年～6 年）	14	21～	
3	中学生	5	41～	
4	一般（高校生）	0	101～	
5	一般	32		
計		69		

4-2. タイムスケジュール

受付	7 : 3 0 ～ 8 : 1 5		
開会・選手説明会	8 : 3 0 ～ 8 : 4 0		
競技	招集時間	スタート時間	終了時間
バイク	—	—	—
キッズ・低学年	8 : 5 0	9 : 0 0	9 : 1 5
キッズ・高学年	9 : 1 0	9 : 2 0	9 : 4 0
中学生、一般	9 : 3 5	9 : 4 5	1 0 : 0 5
ラン	—	—	—
キッズ・低学年	1 0 : 2 0	1 0 : 3 0	1 0 : 3 5
キッズ・高学年	1 0 : 3 0	1 0 : 4 0	1 0 : 5 0
中学生・一般	1 0 : 4 5	1 0 : 5 5	1 1 : 3 0
セミナー	1 1 : 3 0 ～ 1 2 : 0 0		
抽選会・閉会式	1 2 : 0 0 ～		

4-3. 距離と周回数

- ・ キッズ・低学年：バイク 3 km（3 周）／ラン 1km（1 周）
- ・ キッズ・高学年：バイク 5 km（5 周）／ラン 2km（2 周）
- ・ 中学生：バイク 10 km（10 周）／ラン 3km（3 周）
- ・ 高校生以上：バイク 10 km（10 周）／ラン 5km（5 周）

4-4. 競技説明会

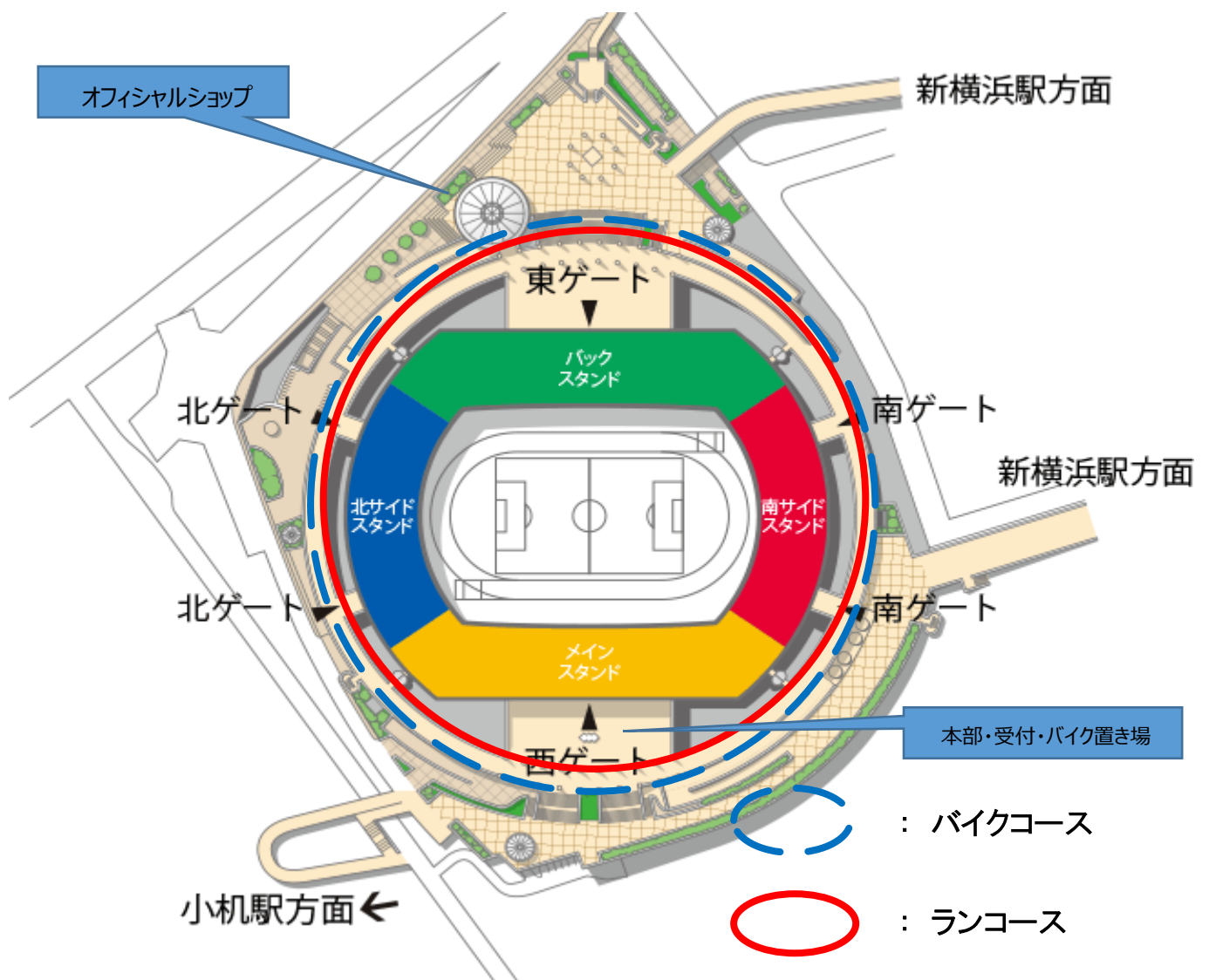
- ・ 「事前競技説明」のパワーポイント資料を事前に選手向けサイトに掲載。
- ・ 当日は 8:30 より 4 階西ゲート広場にて開会式・選手説明会を実施する。

4-5. 開会式・閉会式

- ・ 当日は 8:30 より 4 階西ゲート広場にて開会式・選手説明会を実施する。
- ・ リザルトは大会終了後、KnTU ホームページにて公開する。
- ・ セミナーの開催場所は 4 階西ゲート広場。

4-6. コース

- ・ ランコース、バイクコース共に 4 階リング通路を専有で使用する。バイク終了後ランコースに転換する。
- ・ 4F への階段やスロープは、選手導線以外はコーンで通行止めにする。
- ・ リング通路内側寄りを競技コースとし、コーンで一周コースを作る
- ・ ただし東ゲート脇のショップは大会当日もオープン予定なので、コーンで買い物客用の動線を確保する。



5. 競技規則・ローカルルール（共通）

5-1. 全般

- ・ JTU 競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技運営する。
- ・ アクションカメラ（GoPro など）を着用してレースに出場することはできない。バイクへの装着も不可。
- ・ 「自転車」・「自転車(競技用)ヘルメット」・「自転車及びランニング用シューズ」は、大会当日に選手自身で持参すること。忘れた場合はレースには参加できない。(当日の貸し出しは無し)
- ・ 選手への個人的援助は禁止する。
- ・ 各カテゴリーのスタート時間に遅れた場合は DNS とする。ただし、バイク DNS の場合、ランへの出場は可能とする。
- ・ バイクのみ、ランのみの参加も可能とする。
- ・ TO による選手への拍手程度の応援を可とする。（特に中学生以下の選手への盛り上げ。）
- ・ 受付付近に更衣テントを設置する。

5-2. ルール違反に対する対応

- ・ 注意／警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を詳細に記録する。その後、審判長に報告し裁定を待つ。

5-3. 計測・周回確認

- ・ 計測はアンクルバンドで行う。
- ・ 個人の周回確認は選手の自己責任で行う。（質問されたらそのように回答）
- ・ 周回確認用の輪ゴムの配布は行わない。

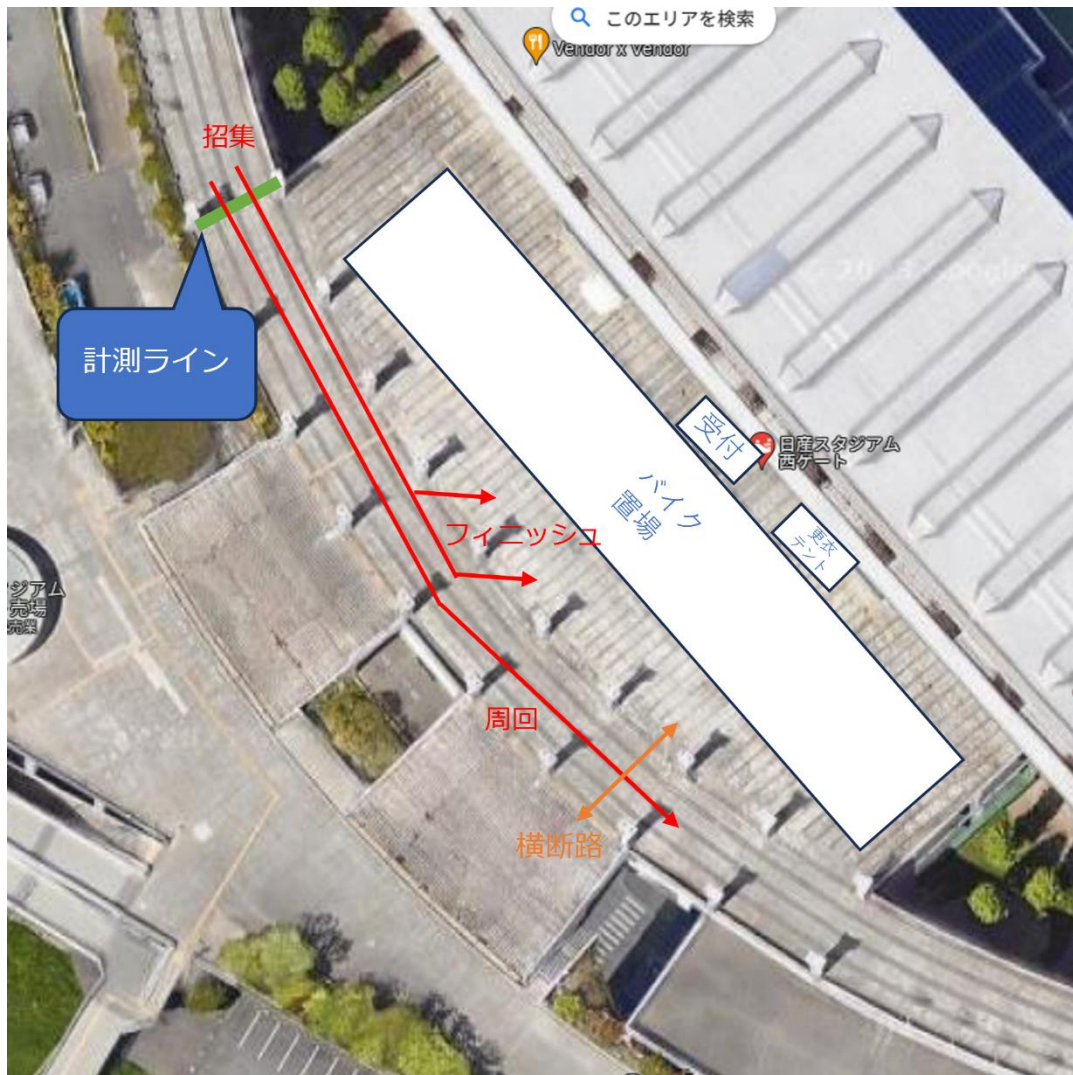
5-4. リタイア時の対応

- ・ リタイア時の対応は、選手から TO への申告による。TO は選手のレースナンバーと氏名を控える。
- ・ 大会本部に無線または口頭にてレースナンバーをリタイア理由と共に報告する。
- ・ リタイア選手は、フィニッシュまで歩かせる。

6. 競技規則・ローカルルール（バイク）

6-1. 計測エリア図

- ・ 5 秒ごとのローリングスタートとする。
- ・ 計測ラインから計測開始し、LAP、フィニッシュタイムを計測・記録する。
- ・ 計測エリア（スタート、周回、フィニッシュ）の設営・導線イメージは下記とする。



6-2. 機材

- ・ バイク競技に使用する自転車は、「ロードバイク」・「通常街中で乗っている自転車」のどちらでも構わない。
- ・ ヘルメットの「あご紐」の形状が下記のもののは使用不可。(ローラースケート用などで発売されているもの)
- ・ 首にかけずにカップ形状の「あごあて」であごの先端で紐を支えるタイプ
- ・ 紐が伸縮性のあるゴム状のタイプ

※転倒したときに外れやすく、簡単に脱げて取れてしまうため。

- ・ ヘルメットは通学用、工事用は使用不可。
- ・ 小中学生の DH バーの装着は禁止。
- ・ スマートフォンのバイクへの取り付けは、GPS/サイクルメーターとして使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
- ・ 「ペットボトル」をサイズの異なる「バイクボトルホルダー」に入れて競技を行うことは禁止。
- ・ 周回数確認のため、サイクルメーターの装着を推奨する。
- ・ ライト、ミラー、ベル、リフレクター、その他の競技に関係しないアクセサリは原則取り外してもらう。取り外しが難しいアクセサリは、車体にしっかり固定されている場合はそのままでもよとする。

6-3. ドラフティング

- ・ ドラフティング走行は禁止。
- ・ ドラフティングゾーンは、前方選手の前輪先端から後方 10m の範囲。バイクは約 2m であるため、4 台分の車間距離をあける。
- ・ 他競技者のドラフティングゾーンに入れるのは、「追い越そうとしているとき(20 秒以内)」、「危険回避の場合」など。
- ・ 追い越し中は追い抜く意思を持って「前進」している必要がある。そのため、ドラフティングゾーン内では、前走の競技者と同じスピードを保ったままではならない。また、追い越されたらすぐに抜き返したり背後についてはならない。

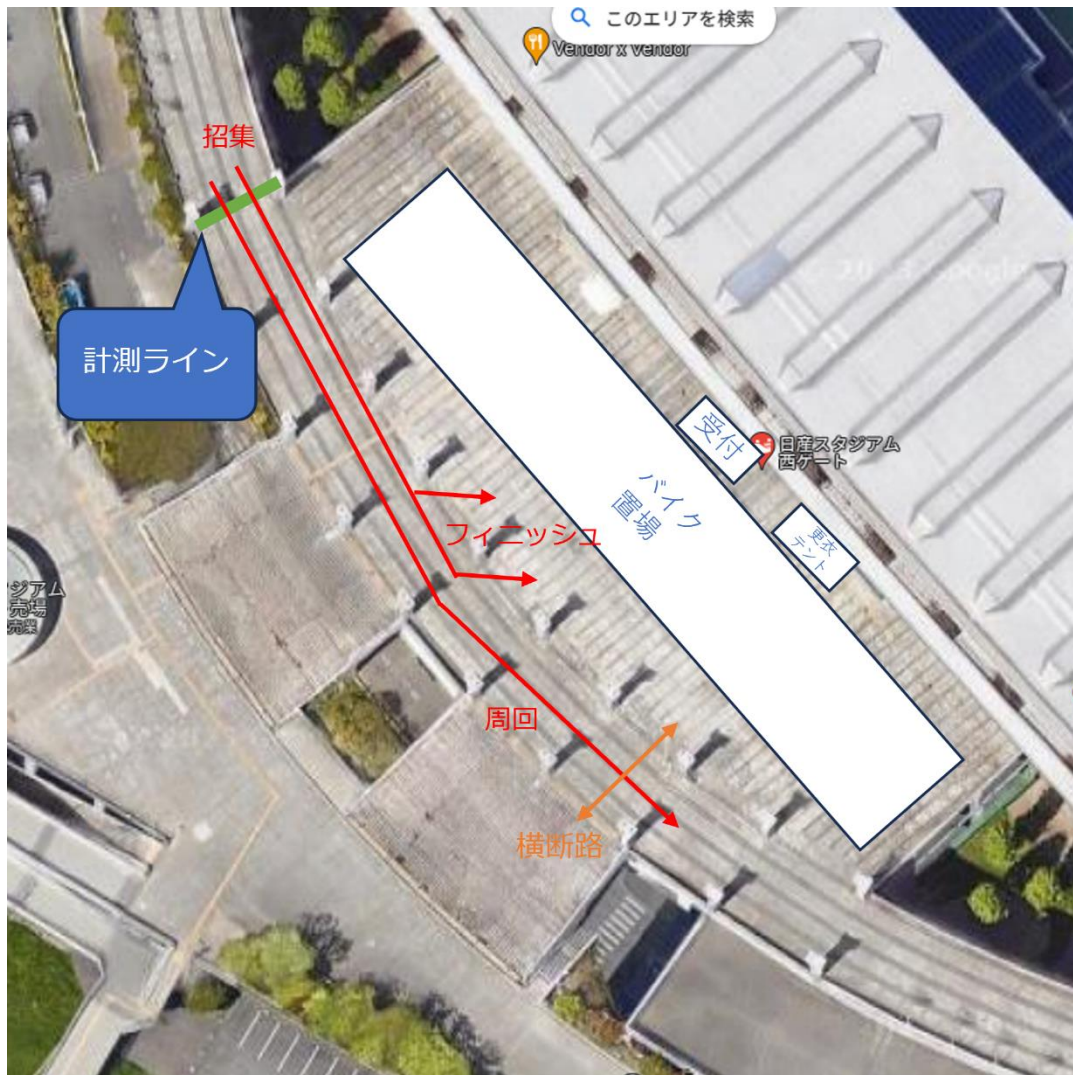
6-4. その他

- ・ バイクでは上下ウェアを着用し、規定のヘルメットを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- ・ 前開きファスナー付ウェアの着用は可。但し、前ファスナーを下げたままでの競技を行うことは禁止。
- ・ バイク競技中、レースナンバーは背中側によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
- ・ レースナンバーは、よく見えるよう背中側の見やすい位置に装着する。
- ・ バイク用レースナンバーシールは、バイクの右側に貼りつける。
- ・ 走行中の「前方注意」「車間距離の確保」は選手義務。
- ・ 「キープレフト(左側走行)」にて競技する。(左端から 1m、コース幅の左側 3 分の 1 以内を基準)
- ・ 追い越しは、後方確認し前走者の右側から行う。
- ・ エイドステーション無し。
- ・ ヘッドフォンやイヤホン装着したままでの競技を行うことは禁止。
- ・ 周回数の確認は選手自身で行う。周回チェックポイントでは、自身の周回数をスタッフに確認することはできない。
- ・ バイクの保管は各自で実施し、バイクスタンドが必要な場合は各自で用意すること。

7. 競技規則・ローカルルール（ラン）

7-1. 計測エリア図

- ・ カテゴリーごとの一斉スタートとする。
- ・ 計測ラインから計測開始し、LAP、フィニッシュタイムを計測・記録する。
- ・ 計測エリア（スタート、周回、フィニッシュ）の設営・導線イメージは下記とする。



7-2. その他

- ・ ランでは上下ウェアを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- ・ 前開きファスナー付ウェアの着用は可。但し、前ファスナーを下げたままで競技を行うことは禁止。
- ・ ランではシューズを着用すること。「裸足」での競技禁止。
- ・ レースナンバーはよく見えるよう身体の前面の見やすい位置に装着する。
- ・ エイドステーションは無し。フィニッシュ後に水を配布。（ペットボトルを配布。）
- ・ ヘッドフォンやイヤホン装着したまま競技を行うことは禁止。

- ・ 競技中にスマートフォンを携帯する場合は通話や撮影などに使用することは禁止。

8. 各担当業務

8-1. 受付／フィニッシュ

8-1-1. 受付

- ・ 受付は TO、選手を対象とする。（応援者は受付対象外）
- ・ 提出書類等
- ・ 選手から＜健康チェックシート＞を回収する。
- ・ 受付の導線
 - カラーコーン・ネット・テープなどで入口と出口を設定し、一方通行の導線とする。
- ・ 消毒用エタノールの配置
- ・ 受付に消毒用エタノールを配置し、希望者が手指の消毒をできるようにする。
- ・ 荷物・貴重品の預かりは無し。車のキーのみ預かる。
- ・ レースナンバーシールは、からだ用、バイク右側、ヘルメット前面用の合計 3 枚。

8-1-2. フィニッシュ（バイク）

- ・ フィニッシュした選手の降車位置までの誘導を行い、安全に降車させる。
- ・ 安全なフィニッシュが難しい（減速不十分など）選手は、急停車などの無理なフィニッシュはさせず、そのまま再度周回するように誘導する。
- ・ バイク終了後は、アンクルバンドを回収する。
- ・ カテゴリーごとにアンクルバンドを回収し、ランの招集場所へ運搬する。
- ・ スペースを広く確保し、一方通行の導線とする。

8-1-3. フィニッシュ（ラン）

- ・ 設営担当と協力し、計測エリア（スタート、周回、フィニッシュ）の設営を行う。
- ・ フィニッシュした選手の誘導を行う。
- ・ フィニッシュテープは使用しない。（全カテゴリー）
- ・ フィニッシュ後にアンクルバンドを回収する。
- ・ コーン、バーなどの撤収を行う。

8-2. 招集／スタート

8-2-1. 招集（バイク）

- ・ 招集時刻に選手を招集する。
- ・ カテゴリーメンバーであることを確認する。
- ・ アンクルバンドを配布する。
- ・ アンクルバンド、レースナンバー、ナンバーシールが確実にセットされているか確認する。
バイク：レースナンバーは背中側、ナンバーシールはバイク右側とヘルメット前方
バイク機材、ヘルメット形状とストラップ装着の確認をする。

8-2-2. 招集（ラン）

- ・ 招集時刻に選手を招集する。
 - ・ カテゴリーメンバーであることを確認する。
 - ・ アンクルバンドを配布する。
 - ・ アンクルバンド、レースナンバーが確実にセットされているか確認する。
- ラン：レースナンバーは身体前面側

8-2-3. スタート（バイク）

- ・ 計測エリア（スタート、周回、フィニッシュ）の設営を行う。
- ・ スタート時間1分前になったら、乗車位置手前に整列させる。
- ・ 整列はナンバー順でなくて構わない。
- ・ スタート時間になったら、5秒間隔でスタートさせる。
- ・ キッズは 2 名同時、中学生以上は 3 名同時のスタート。
- ・ カテゴリーごとの最終スタート時間に間に合わない場合は、DNSとする。

8-2-4. スタート（ラン）

- ・ スタート時刻 1 分前になったら、計測ライン手前に整列させる。
- ・ スタート時刻になったら HR の合図で一斉スタートさせる。
- ・ 整列はナンバー順でなくて構わない。
- ・ 各カテゴリーのスタート時刻に間に合わない場合は、DNSとする。

8-3. 設営／定点

8-3-1. 設営（バイク）

- ・ 安全を最優先にコーン、バー、看板、ガムテープ表示を設置し、コース作りをする。
- ・ 分岐、コーナーなど、設営を工夫して、選手が迷わないコース設定をする。
- ・ スタジアムへ一般に訪れている人の歩けるスペースを設ける。

8-3-2. 設営（ラン）

- ・ 安全を最優先にコーン、バー、看板、ガムテープ表示を設置し、コース作りをする。
- ・ 分岐、コーナーなど、設営を工夫して、選手が迷わないコース設定をする。
- ・ スタジアムへ一般に訪れている人の歩けるスペースを設ける。

8-3-3. 定点（バイク）

- ・ 当日、コースの状況を確認してTOの配置を決定する。
- ・ 競技中のコース上の安全を監視する。
- ・ 特に、エレベーターの出口、階段、スロープなど、人が出入りする箇所の安全に注意する。
- ・ フィニッシュする選手へ、コースの左側へ寄るように声がけを行う。
- ・ 危険走行、ドラフティング、キープレフトのチェックを行い、必要に応じ選手へ声掛けをする。
- ・ 落車などが発生した場合、2次的な事故を防止するとともに、落車した方の安全を確保したうえで本部へ連絡する。
- ・ スタジアム利用者へ大会実施の案内と誘導を丁寧に対応する。

8-3-4. 定点（ラン）

- ・ 当日、コースの状況を確認してTOの配置を決定する。
- ・ 競技中のコース上の安全を監視する。
- ・ 特に、エレベーターの出口、階段、スロープなど、人が出入りする箇所の安全に注意する。
- ・ フィニッシュする選手へ、コースの左側へ寄るように声がけを行う。
- ・ スタジアム利用者へ大会実施の案内と誘導を丁寧に対応する。

以上